

2009年の仕事と家庭について

第2期 OB 神谷 光俊

小野晃典研究会第2期の神谷です。この度はOB・OG会誌の依頼をいただきましたので、自分の2009年を振り返りながら報告させていただきたいと思います。2009年は自分にとって、仕事面でも家庭でも大きな変化があった年でした。

◆仕事について

2010年4月で大学を卒業してから6年が経過します。新卒で入社したのは花王株式会社で、当時数少ないマーケティング職の職種別採用に惹かれて入社を決めました。入社1年目に担当となった「サクセス」を現在も担当しており、6年間に5つの新製品と3つの改良品を発売するだけでなく、10本を超えるTVCMの制作に関わったり、イメージキャラクターの伊藤英明さんが出演する映画に協賛したりと、忙しい中ですが楽しい毎日を送っています。

仕事のメインである商品開発・育成も育毛剤からシャンプー・リンス、シェービングにカラーリングと幅広く担当させていただいています。その中で2009年10月には、今までで一番開発に苦勞をした「サクセス・ステップカラー」という商品を発売しました。白髪世代の男性の意識を調べるため、数多くの消費者調査（デプスインタビュー）を実施し、それに基づいて「使うたび少しずつ白髪を目立たなくする」という商品コンセプトを作り上げました。既存のカラーリングは一回でしっかり染まるものが当たり前に普及しているため、大きな発想の転換をすることになりましたが、発売3ヶ月後も順調に売れており、自分自身も担当者として11月にテレビ東京の「ザ・逆流リサーチーズ」という番組に出演、2月には新聞や雑誌などのメディアでも商品と一緒に自分も取り上げていただくことが決まっています。

商品の発売に向けて、自分には分かりにくい白髪という悩みを生活者の立場になって物事を考えることの大切さを学びましたが、ルーツを辿っていくとやはり小野ゼミにあると思っています。大学に入る受験勉強にしても、本質まで考え抜くということをあまりしなかった自分ですが、ゼミに入ってから、結果はどうあれ、「本質まで考え抜く」ことを目標としていたのは事実です。また辛くても諦めないという耐性を培うこともできました。

現役生の皆さんは、いまやっていることが将来の仕事に直結しなくとも、必ずゼミで培ったことが生きてくるので、必死で課題に取り組んでください！

◆家庭について

当初のOB・OG会誌の依頼には、小野先生より「新婚生活」についてと言われていました。自分は2007年9月に結婚したので、「新婚」という意識もなくなりつつありましたが、2009年5月に妻の妊娠が発覚、今までとは同じような生活はできなくなりましたが、子どもの誕生を待ち望むとともに、家族として新た

な一歩を踏み出すこととなりました。

実際に子どもが誕生したのは2010年1月16日（土）の早朝6時。木曜日の夜から陣痛に近い痛みがあったので、休暇をもらい金曜日は大阪の妻の実家で付き添っていました。夜通しの出産でしたが、一生に何度もない立会い出産という経験をすることができました。子どもは2900gの男の子で、颯良（そら）と名づけました。

◆今後について

小野ゼミの影響で（？）、今までは仕事を中心の生活をしており、結果を出すためにはプライベートは封印していた部分もありましたが、子どもが誕生したこともあり、今後は「効率化」という軸も仕事に取り入れて、より短時間で今まで以上の成果を出すことを目標に仕事に取り組んでいきたいと考えています。

また、この6年で髪についてはかなり詳しくなりましたので、不安がある方はいつでも相談してください。男性の髪は20歳ごろがピークであとは加齢とともに細くなっていきます。薄い人の髪は、減っている訳ではなく細くなっているだけですのでご注意ください！

最後に出産の関係で原稿の提出が非常に遅れてしまい、申し訳ありませんでした。写真は生後15日目の息子です。



颯良くん（生後15日目）